



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 丸栄

コード番号 8245 URL <http://www.maruei.ne.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 京極 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 (氏名) 渡邊 克哉

TEL 052-264-1211

四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	18,135	△4.9	214	93.7	120	—	△30	—
25年2月期第3四半期	19,063	△2.8	110	△60.5	10	△86.5	△215	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 △24百万円 (—%) 25年2月期第3四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	△0.24	—
25年2月期第3四半期	△1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	46,624	20,160	43.2
25年2月期	46,901	20,188	43.0

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 20,160百万円 25年2月期 20,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—		
26年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	0.4	450	70.3	270	183.6	110	—	0.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期3Q	130,368,887 株	25年2月期	130,368,887 株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	505,654 株	25年2月期	486,597 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期3Q	129,872,901 株	25年2月期3Q	129,886,144 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による積極的な経済政策や日本銀行の金融政策を背景として円高の是正や株高が進行し、企業業績の改善や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移し、全般に明るい兆しが見られる状況となりました。

こうした環境下において、当社グループの主たる事業分野であります百貨店業界におきましては、宝飾品、美術品などの高額商品が好調を維持しているほか、冬物衣料の売れ行きも堅調な動きを見せているものの、消費マインドは個人所得の改善の遅れ等により、節約志向が依然として継続しており、今後の消費税率の引き上げ等の影響を鑑みますと、先行きは引続き不透明な状況にあります。

こうした中、当社は業績の向上に向けて、1階を中心にヤング・ニューキャリアゾーンの再編成を実施、また8階には金製品を集結した「ゴールドサロン」を新設するなど、集客力の強化と地域のお客様にご満足いただける魅力ある売場づくりに引き続き取り組んでまいりました。また、経費削減や費用対効果の向上にも継続的に努め、財務体質の安定化と経営効率の高い店舗運営体制の確立に力を注いでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、181億3千5百万円（前年同期比95.1%）となりました。利益面につきましては、営業利益2億1千4百万円（前年同期比193.7%）、経常利益1億2千万円（前年同期は経常利益1千万円）となりましたが、特別損失として固定資産除却損1億4千3百万円を計上いたしました結果、3千万円の四半期純損失（前年同期は2億1千5百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔百貨店業〕

百貨店業におきましては、1階を中心に新ショップの導入や人気ショップの拡大によるヤング・ニューキャリアフロアの鮮度の維持及び活性化に努め、食品フロアにおいても新規ショップを導入するなど、積極的なスクラップ&ビルドに取り組んでまいりました。また新たに「タイランドフェア」や「東北六県の物産と観光展」を開催するなど、集客力の強化と全館への波及効果による売上高の向上にも努めてまいりました。

しかしながら、主力の衣料品の不振などもあり、百貨店業の売上高は161億5百万円（前年同期比95.3%）となりました。利益面につきましては、徹底した経費管理と節減に努めました結果、営業利益7千1百万円（前年同期は営業損失9千2百万円）となりました。

〔不動産賃貸業〕

不動産賃貸業におきましては、空室率の低減に取り組みましたが、売上高は12億7千6百万円（前年同期比94.4%）となり、営業利益は4億2千5百万円（前年同期比82.4%）となりました。

〔その他〕

その他におきましては、運送業、清掃業及び百貨店店舗内において友の会事業を運営しており、売上高は7億5千3百万円（前年同期比92.4%）となりましたが、営業損失1千7百万円（前年同期は営業損失1千8百万円）という結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億7千7百万円減少し、466億2千4百万円となりました。これは流動資産が3億6千7百万円増加し、一方、固定資産が6億3千7百万円減少したことなどによります。流動資産の増加については、受取手形及び売掛金が2億3千5百万円増加したことなどにより、固定資産の減少については、減価償却等により有形固定資産が3億2千1百万円減少したことなどによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億4千8百万円減少し、264億6千4百万円となりました。これは流動負債が3億3百万円減少し、一方、固定負債が5千5百万円増加したことによります。流動負債の減少については、短期借入金が7億円減少し、その他に含まれている設備支払手形が2億3千5百万円増加したことなどによります。固定負債の増加については、社債が2億5千万円減少し、長期借入金が2億7千1百万円増加したことなどによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2千8百万円減少し、201億6千万円となりました。これは主に四半期純損失3千万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想に関しましては、平成25年4月11日に公表いたしました「平成25年2月期決算短信」より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,276	1,353
受取手形及び売掛金	560	796
商品	424	390
その他	807	895
貸倒引当金	△145	△145
流動資産合計	2,922	3,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,734	8,385
土地	30,433	30,433
その他(純額)	266	294
有形固定資産合計	39,435	39,113
無形固定資産		
のれん	1,342	1,279
その他	60	84
無形固定資産合計	1,402	1,364
投資その他の資産		
投資有価証券	2,428	2,477
その他	687	360
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,115	2,838
固定資産合計	43,954	43,316
繰延資産	24	17
資産合計	46,901	46,624
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,736	1,934
短期借入金	1,700	1,000
1年内返済予定の長期借入金	3,867	3,859
1年内償還予定の社債	470	390
未使用商品券等引当金	311	293
その他の引当金	52	78
その他	2,844	3,122
流動負債合計	10,982	10,678
固定負債		
社債	715	465
長期借入金	7,684	7,956
再評価に係る繰延税金負債	3,998	3,998
退職給付引当金	316	314
その他	3,015	3,051
固定負債合計	15,730	15,786
負債合計	26,712	26,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,937	9,937
資本剰余金	2,290	2,290
利益剰余金	727	696
自己株式	△107	△111
株主資本合計	12,847	12,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	18
土地再評価差額金	7,328	7,328
その他の包括利益累計額合計	7,341	7,347
純資産合計	20,188	20,160
負債純資産合計	46,901	46,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	19,063	18,135
売上原価	15,197	14,401
売上総利益	3,866	3,733
販売費及び一般管理費	3,756	3,519
営業利益	110	214
営業外収益		
受取利息	10	3
持分法による投資利益	43	43
売場改装協力金	103	101
その他	25	24
営業外収益合計	183	172
営業外費用		
支払利息	198	177
その他	86	89
営業外費用合計	284	266
経常利益	10	120
特別利益		
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
固定資産除却損	228	143
特別損失合計	228	143
税金等調整前四半期純損失(△)	△206	△23
法人税等	8	7
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△215	△30
四半期純損失(△)	△215	△30

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△215	△30
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△7	6
四半期包括利益	△222	△24
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222	△24
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,896	1,351	18,248	815	19,063	—	19,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	123	126	632	759	△759	—
計	16,900	1,474	18,375	1,448	19,823	△759	19,063
セグメント利益又は損失(△)	△92	516	424	△18	405	△295	110

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△298百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	百貨店業	不動産 賃貸業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,105	1,276	17,381	753	18,135	—	18,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	109	112	525	638	△638	—
計	16,108	1,385	17,494	1,278	18,773	△638	18,135
セグメント利益又は損失(△)	71	425	497	△17	480	△265	214

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、清掃業及び友の会事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△265百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△269百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門における費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。